

基幹施設アンケート結果

1. 調査の背景・目的

初回の認証が終了した現時点で、各地域の遺伝カウンセリング体制及び有資格者の状況を把握する。

2. 調査対象

認証基幹施設 168 施設

3. 調査方法

基幹施設に対して、Google フォームでアンケート調査を行う。

4. 調査期間

2022 年 11 月 17 日（木）～30 日（水）[14 日間]

5. 調査結果の回収状況

123 施設／168 施設（回収率 73%）

6. 調査結果（地方連合ごと）

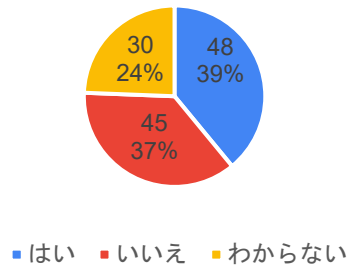
地方連合	回答数	連携施設数は十分か／はい		連携施設数は十分か／いいえ		連携施設数は十分か／わからない		人的要件を満たさないため申請が滞っている施設がある		施設数	日本産科婦人科遺伝診療学会修了証を満たさない		施設数	臨床遺伝専門医を満たさない		施設数	出生前コンサルト小児科医を満たさない		施設数
東北・北日本	9	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	6	66.7%	8	4	44.4%	4	4	44.4%	4	1	11.1%	1
関東	43	17	39.5%	15	34.9%	11	25.6%	19	44.2%	38	19	44.2%	35	7	16.3%	15	3	7.0%	4
北陸	3	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%	2	66.7%	3	2	66.7%	3	0	0.0%	0	1	33.3%	1
東海	7	2	28.6%	2	28.6%	3	42.9%	3	42.9%	9	2	28.6%	8	1	14.3%	3	1	14.3%	5
近畿	28	11	39.3%	9	32.1%	8	28.6%	9	32.1%	16	7	25.0%	15	3	10.7%	9	1	3.6%	1
中国四国	17	9	52.9%	7	41.2%	1	5.9%	7	41.2%	12	6	35.3%	11	3	17.6%	5	1	5.9%	3
九州沖縄	16	5	31.3%	6	37.5%	5	31.3%	5	31.3%	15	5	31.3%	14	1	6.3%	3	2	12.5%	3
計	123	48	39.0%	45	36.6%	30	24.4%	51	41.5%	101	45	36.6%	90	19	15.4%	39	10	8.1%	18

7. 調査結果（全国）

【問 1】

貴施設の地域で、NIPT の受検を検討されている妊婦に対応するための、認証施設数は十分であると考えておりますか。

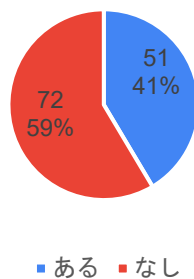
連携施設の認証施設数は十分か



【問 2-1】

貴施設との連携を希望しているが、人的（資格）要件を満たさないために連携施設申請（暫定連携施設から連携施設への申請変更も含む）が滞っている施設はありますか？

連携施設申請が滞っている施設

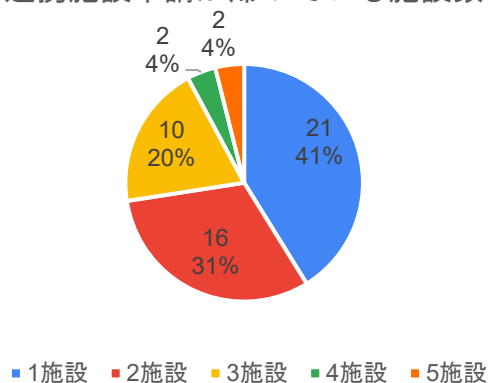


【問 2-2】

問 2-1 で「ある」と回答した方について、何施設になりますか（施設数をご記入ください）。

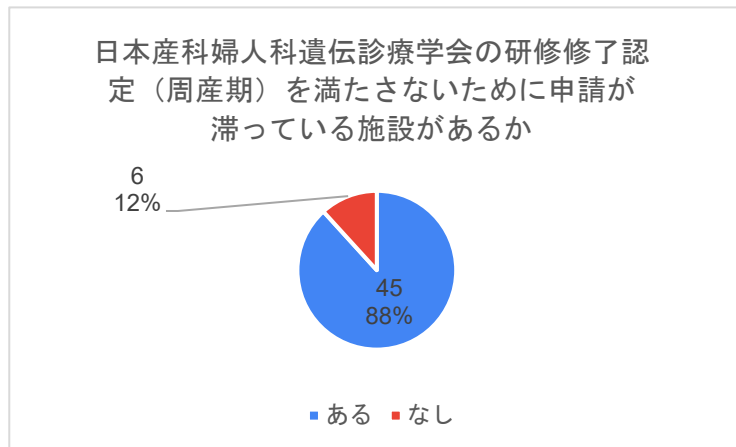
合計：101 施設

連携施設申請が滞っている施設数



【問 3-1】

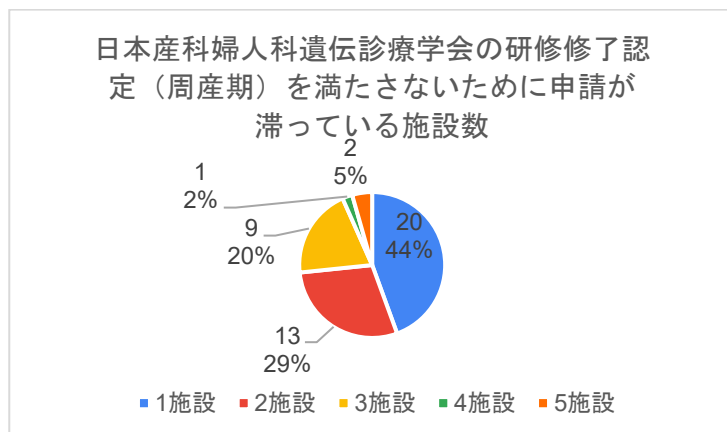
問 2-1 で「ある」と回答した方について、具体的な人的（資格）要件をお伺いします。日本産科婦人科遺伝診療学会の研修修了認定（周産期）を満たさないために申請が滞っている施設がありますか。



【問 3-2】

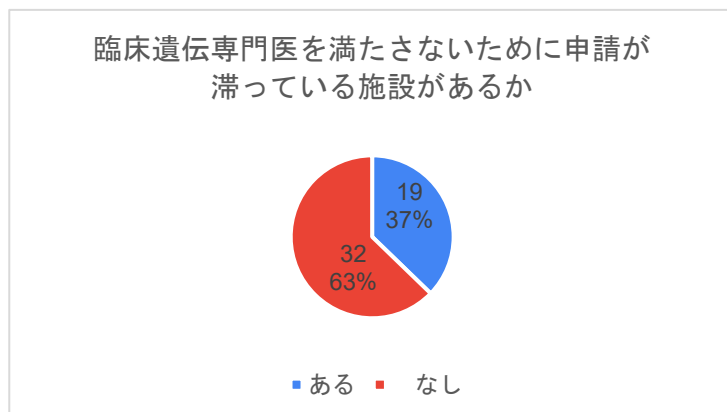
問 3-1 で「ある」と回答した方について、何施設になりますか（施設数をご記入ください）。

合計：90 施設



【問 4-1】

問 2-1 で「ある」と回答した方について、具体的な人的（資格）要件をお伺いします。臨床遺伝専門医を満たさないために申請が滞っている施設がありますか。

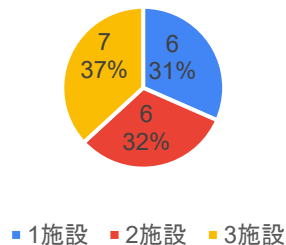


【問 4-2】

問 4-1 で「ある」と回答した方について、何施設になりますか（施設数をご記入ください）。

合計：39 施設

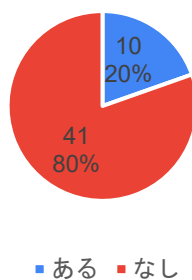
臨床遺伝専門医を満たさないために申請が滞っている施設数



【問 5-1】

問 2-1 で「ある」と回答した方について、具体的な人的（資格）要件をお伺いします。出生前コンサルト小児科医を満たさないために申請が滞っている施設がありますか。

出生前コンサルト小児科医を満たさないために申請が滞っている施設があるか

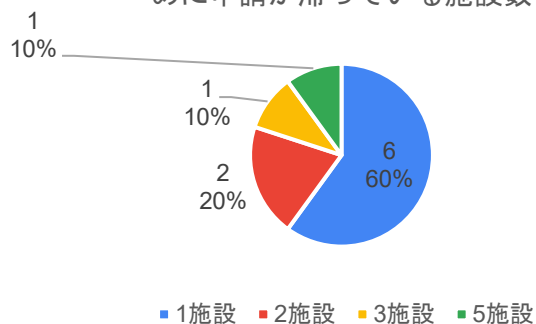


【問 5-2】

問 5-1 で「ある」と回答した方について、何施設になりますか（施設数をご記入ください）。

合計：18 施設

出生前コンサルト小児科医を満たさないために申請が滞っている施設数



8. 集計結果

・連携施設数が十分かに対し、「いいえ」と回答したのは 123 施設中 45 施設 (36.6%)。そのうち、最も割合が高かったのは、東北・北日本地方 (55.6%)、続いて中国四国地方 (41.2%)、九州沖縄地方 (37.5%)。

・人的 (資格) 要件を満たさないために連携施設申請 (暫定連携施設から連携施設への申請変更も含む) が滞っている施設はあるか、については、北日本・東北地方と北陸地方の割合が高く (いずれも 66.7%)、九州沖縄地方が低かった (31.3%)。施設数は、全体では 101 施設との回答だった。

・資格別では、日本産科婦人科遺伝診療学会の研修修了認定 (周産期) を満たさないために申請が滞っている施設が最も多く、90 施設。続いて臨床遺伝専門医 39 施設、出生前コンサルト小児科医 18 施設だった。

9. 結論

現状では認証基幹施設のうち 41.5% の施設で、人的要件を満たないことが理由で連携施設として申請できない施設がある。そのうち、日本産科婦人科遺伝診療学会の研修修了認定 (周産期) を満たさないために申請が滞っている施設が 88% となっており、施設数としては 90 施設となる。地域完結型の医療体制を構築するには、日本産科婦人科遺伝診療学会が企画する出生前検査に関する講習会の定期開催が必要と考えられる。

以上